

出展問合せ続々と!7月末まで延長して対応



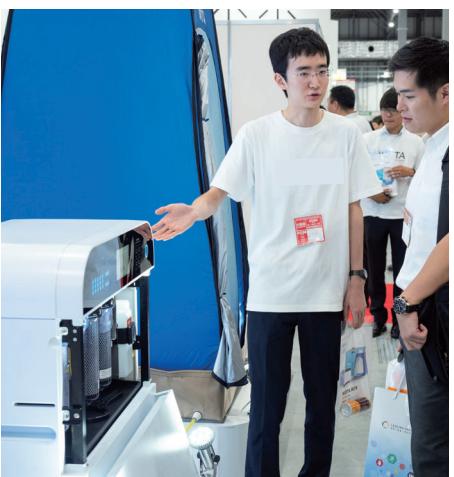
ようやく店頭に商品が戻りつつあるマスク不足に異業種参入相次ぐ
新たな「非接触」ビジネスも拡大

マスク不足に異業種参入相次ぐ
新たな「非接触」ビジネスも拡大

10月21日（水）から23日（金）の3日間、東京ビッグサイト青海展示棟で開催する『危機管理産業展（RISCON TOKYO）』と『テロ対策特殊装備展（SEECAT）』は、予定通りの開催に向けて準備を進めている。緊急事態宣言が全国的に解除された5月25日以降、出展に関する問い合わせが続いている。

事務局では、政府、東京都、業界団体のガイドラインに沿って、マスク着用、手洗いの徹底、消毒、検温、3密の回避といった基本的な取り組みに加えて、ソーシャルディスタンスを確保するための会場レイアウトや徹底した感染防止対策に着手。基本方針は8月上旬に発表する予定となっている。出展申込締め切り後も「RISCONが開催されるなら出展したい」「秋の展示会は諦めていたがもう一度検討したい」という問い合わせが急増しており、依然として150社以上が出展を検討中。引き続き7月末まで延長して出展募集を受け付ける。（次号で出展者一覧を公開予定）。

今秋10月の開催に向けて予定通り準備進める



予想できなかつた緊急事態宣言 見直し進むBCP

技術や素材を生かした高機能マスクが注目を集め。医療機関以外の一般企業にとっても感染症対策の取り組みがビジネスに直結しており、フェイスガードや飛沫感染防止パネル・シートなども急速に普及した。また、生活・ビジネスのあらゆる場面で「非接触」がキーワードになっており、コンビニ・スーパーなどでは、從来人手不足対策で進めていたセルフレジの普及が急拡大。遅れていると言っていたキャッシュレス決済も浸透が進む。新しい生活様式の実践に向けた「非接触」ビジネスの旺盛な需要に新サービスも新たに登場している。

対策急務! コロナ禍における避難所問題

コロナ禍が長引くほど、地震や台風等の大規模災害が同時発生するという「複合災害」の可能性も高くなる。多くの地域で梅雨に入り大雨による災害リスクが高まる中、「3つの密」が重なりやすい避

難所での感染症対策が懸念されている。内閣府などは4月、各自治体において可能な限り多くの避難所を開設したり、親戚・友人宅への避難検討を周知したりといった方法で、3密とならない環境を確保するよう求めたほか、発熱やせきの症状がある人には専用スペースを設けることを要請。発症者が生じた場合に備えて、事前に対応を検討するとも呼び掛けた。また、ホテルなどを避難所として利用できるよう急ピッチで準備を進めるほか、マスクなどの衛生用品や、避難スペースを区切るパーテーション（仕切り）などの備蓄購入も支援し、各自治体などが運営する従来の指定避難所の環境改善も図る。今後の推移によっては職員の確保など対応の限界も指摘され、「不要不急」の避難をいかに減らせるかがカギとなりそうだ。

緊急事態宣言下でも 動き続けた交通・ライフライン

今回の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、事業継続計画（BCP）の見直しが官民で急速に進んでいる。これまでには地震や台風などを想定しハード面の被害に重点が置かれていたが、感染症対策も新たに加える。「いかに早期に復旧させられるか」が重要な自然災害とは異なる、感染症を想定したBCP策定は、事業を運営する要員が徐々に少なくなることを想定し、不要・不急の業務を明確化することがポイントとなる。自治体、企業は「Withコロナ」の長期戦を制するため、「新しい生活様式における働き方の新しいスタイル」を視野に、これまで構築してきたBCPを見直しながらの実践が必要となっている。

RISCON TOKYO 2020 【新型コロナウィルス感染症対策サポーター】 募集のお知らせ

RISCON TOKYOでは、主催者と出展者が一体となってさまざまな感染症対策に取り組み、安全・安心な展示会として来場者の皆さまをお迎えしたいと考えています。現在、事務局ではマスクの着用や消毒、検温、3密の回避といった基本的な取り組みに加えてソーシャルディスタンスを確保するための会場レイアウトや運営方法の工夫など、開催に向けての準備に着手しております。会場における対策の一環として全来場者（前回実績3日間合計18,486名）が通過する会場入口などで、運営スタッフが来場者の皆さまよりご提供いただいた感染症対策資材や機器などを活用し紹介することで、さらなる対策の強化を図りたいと考えております。また、来場者の皆さまへ配布する感染症対策製品などを募集します。本企画への積極的なご参加をお待ちしております。

募集内容：運営スタッフが使用する展示会場内における感染症対策資材・機器の提供

- マスク、フェイスガード、手袋等の配布品
- 手洗い、手指消毒・除菌剤関連製品
- 飛沫感染防止に関する製品・機器・サービス（飛沫感染防止用カーテン・シート・フィルムなど）
- 「非接触」に関する製品・機器・サービス（サーモグラフィー発熱者感知システム、非接触体温計など）
- ソーシャルディスタンス確保を周知するためのサイン、ポスター、ステッカーなど
- 救護室、テント設備、隔離スペース用備品など

参加条件：RISCONまたはSEECATに1小間以上出展

*採用された出展者名と製品を看板等で紹介するほか、公式Webサイトやプレスリリースなどで積極的にPRします。

ソフトターゲット

二つ目は、防災・減災分野から「避難所運営・資機材」。前出の通り避難所運営・資機材・サービスを提案する企画を計画中。また、専門家を招いた関連セミナーによる第2波、第3波に向けた備えに役立つBCP策定など、さまざまな対策を提案する出展者展示のほか、会場入口では「新型コロナウイルス対策サポート」による複数用意する予定となっている。

避難所運営・資機材

一つ目は、事業リスク対策分野から「感染症対策」。マスク、防護服など資機材やBCP策定など、さまざまな対策を提案する出展者展示のほか、会場入口では「新型コロナウイルス対策サポート」による第2波、第3波に向けた備えに役立つ資機材・サービスを提案する企画を計画中。また、専門家を招いた関連セミナーによる模擬展示や関連セミナーも計画中だ。

感染症対策

今年のRISCONでは、3つの主要分野から差し迫る喫緊の課題を特別テーマに設定。テーマごとに集中展示するほか、セミナーや企画展示などと連動して来場者へ広く訴求していく。

差し迫る喫緊の課題を3つの特別テーマに設定

「レガット」。東京2020が延期となり、感染症対策を含めた新しいセキュリティ体制の構築が必須となつておらず、セキュリティの自動化・無人化・非接触などがキーワードになりそうだ。



Withコロナ/ Afterコロナの 危機管理を提案

RISCONには「防災・減災」「事業リスク対策」「セキュリティ」の主要3分野から「危機管理」に関わる製品・サービスが集結する。今年はそれぞれの分野「+コロナ対策」が注目を集めそうだ。本展示会の開催を通じて、「新しい生活様式」の実践をあらためて周知し、出展者・来場者ほか関係者を含むすべての参加者と一緒に「Withコロナ/Afterコロナ」の危機管理を提案していきたい。

